

ハマ街グルメ

特別編

横浜を拠点に活動する LTR メンバーにとって、幅広いジャンルの名店が揃うハマのグルメは、日々のパワーの源です。今回は特別編として、コロナ禍でいち早くフードデリバリーサービス「東戸塚イーツ」を立ち上げた「東戸塚商店会」に注目！ 企画から実現までの驚くべきスピード感の秘密や、サービスの特長などに迫ります。

東戸塚商店会 ～チーム東戸塚～

2018年に発足した「東戸塚商店会」（名称：チーム東戸塚）。メンバーを束ねる会長の森田達美さんに、「東戸塚イーツ」をはじめとするさまざまな取り組みや、“チーム”の魅力などについてお聞きしました。



今、ハマで熱い商店会

“チーム東戸塚”の取り組みが街を元気に！

「従来のイメージにとらわれない商店会」という考えのもと、2018年4月に発足した「東戸塚商店会」。「未来の子供たちに誇れる街づくり」をスローガンとし、東戸塚をさらに素敵な街へと発展させるため、さまざまな取り組みを行っています。「以前は、商店会＝（イコール）会費を納めてお店の宣伝をしてもらう



東戸塚商店会 会長 美容院・Hair Make De Choix オーナー 森田 達美さん

イメージ。正直なところ、あまり魅力を感じませんでした。そんな中、『東戸塚ふれあいさくら祭り』などに参加し意気投合したメンバーと『商店会を作ろう』という話が出たとき、あることに気が付いたんです。

それは、自分が商店会という言葉に縛られていたこと。東戸塚の活性化を目指すなら、いろんな経験ができて、多くの人が気軽に関われる方がいい。そういう“チーム”なら作りたいと思いました」と森田さん。

そこで名称を“チーム東戸塚”に決定。東戸塚に在住・在勤の方のほか、東戸塚が好きという方も大歓迎で、日々の活動に会員以外の方が参加することも多いといいます。特長は、メンバーの得意分野を活かしながら、すぐに行動するところ。それを明確に示したのが、フードデリバリーサービス「東戸塚イーツ」です。

メンバーの強みとチームワークを活かした「東戸塚イーツ」

「すぐに宅配をやった方がいい」飲食店に新型コロナウイルスの影響が出始めた2020年2月下旬、森田さんはこう考えていました。さっそくメンバーが集まって話し合いを進め、商店会内に宅配システムを作ることに！そして、わずか1ヶ月後の4月に「東戸塚イーツ」の誕生となったのです。

運営を取り仕切るのは、地域情報誌「戸塚新聞」の編集に10年以上携わる三根翔太さん。同誌



「東戸塚イーツ」のロゴ付き専用スクーターで元気に配達へ！

が飲食店とのパイプをもつ強みを活かし、商店会の加盟店舗と連携して準備を進めてゆきました。配達にはデリバリー業者に任せず、商店会から飲食店のスタッフに報酬を払ってお願いするスタイルです。